

平成 18 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 デジタルアーツ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 道具 登志夫
コ ー ド 番 号 2326 大阪証券取引所 ヘラクレス市場
問 合 せ 先 管理本部 取締役 宮脇 真樹
(TEL 03-3580-3080)

平成 18 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 18 年 2 月 8 日の「平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)」発表時に公表した平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期 単体通期業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,300	334	178
今回修正予想(B)	1,338	465	256
増減額(B-A)	38	131	78
増減率(%)	2.9%	39.2%	43.8%
前年同期実績(平成 17 年 3 月期)	893	137	128

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

2. 平成 18 年 3 月期 連結通期業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,400	334	178
今回修正予想(B)	1,389	417	208
増減額(B-A)	△11	83	30
増減率(%)	△0.8%	24.9%	16.9%
前年同期実績(平成 17 年 3 月期)	—	—	—

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

3. 修正の理由

当社の主力事業であるセキュリティ事業において、企業向け製品では、情報漏洩対策機能と取得したログの分析効率の強化を図り、また家庭向け製品においても、各都道府県の条例の整備や政府の対応に伴い、安心で安全なインターネット環境の整備という需要が新たに喚起され、これに対応した製品やサービスを展開しました。

この結果、セキュリティ事業全体で前回発表時の計画を上回る売上高となる見込です。

あわせて、人員採用計画の一部見直しに伴い、人的リソースの再配分による組織の基盤固めと、社内各部における業務効率化とコスト削減に取り組んだ結果、人件費を中心に当初の計画に比べ、売上原価並びに販売費及び一般管理費の削減が実現できる見通しであります。

こうしたことにより、前回発表した業績予想に対して単体・連結共に、経常利益が大きく見込みを上回る見通しでありますので、ここにご報告いたします。

(注)

1. 当社は、平成17年3月1日より連結対象となる株式会社アイキューエスを子会社としておりますが、平成17年3月期の決算には財務諸表のうち貸借対照表のみが連結対象であるため、平成17年3月期の連結の数値は記載しておりません。
2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本発表数値につきましては速報値でありますので、決算発表時の数値と若干のずれが生じる可能性がありますので、予めご了承願います。

以上